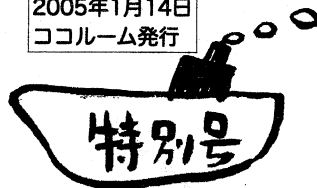


ぼえ犬通信



2005年1月14日
ココルーム発行



裁判を行なうのではない。散歩をしている。時間の糸を編むように人は歩きつづけ、やがてその場を去り、まちなかを音もなく見えない川が流れていく。

■ぼえ犬が歩くと、ことばが生まれる。

ぼえ犬は道を歩き、道のない道を歩き、あちこちの街を歩き、たくさんの生き物に出会う。

ぼえ犬はいろんな生き方や、ありようがあることを知り、ボクボクと歩き

またことばが生まれる。



現代の世界遺産とでも呼べそうな

フェスティバルゲート御殿に生まれたぼえ犬。

ココルーム
部屋からでると、建物の端のベンチに日がないちにちそこにおいて、空を見あげている男の人たちに出逢う。ぼえ犬は彼らの顔を覚えるが、話しあうことはなかった。

窓ふきを手伝っているとき、見覚えのあるおじさんが顔面血だらけになって走ってきた。驚いて声をかけたが、返事はなかった。

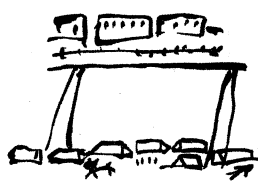
スーパー玉出におつかいを頼まれたぼえ犬。

はじめて建物を出ると、ブルーシートの連なる道がつづく。

ぼえ犬と同じ仲間の犬たちがおじさんたちと一緒に暮らしている。

「噛まれないように」と注意されているので、近寄れないが、それぞれに工夫の凝らされた家々は見応えがあり、おじさんたちは技術者なのだなあ、と思う。

買物を済ませ、またその道に戻るとおじさんたちに「苦勞さん。夕ご飯か」と話しかけられ「わん、そうです」と頭をさげた。



■仕事のない冬を越すこと

ぼえ犬ははじめて「越冬」ということばを聞いたとき、渡り鳥のことだと思った。

年末年始に仕事がなく日雇い労働者のために、炊き出しなどの支援活動が行なわれる。

この年末年始の教日間を乗りきることを総称して「越冬」と呼ぶ。

はじめて雪の降った翌日

「越冬」の三角公園まで歩いて行った。

バンドの演奏が公園から聞こえてくる。

近づいてみると、藤棚がある高いところがステージになり、ゲバ字（学生運動が盛んだった頃、壁などに書かれたカクカクした文字のこと）のたて看板があり、フルバンドがカラオケを演奏していた。

歌い手は順繰りに舞台上に上がるようだ。

譜面がないので、バンドは「こうだっけ」と言いながら即興演奏をしている。



舞台の下には黒いかたまり。みんな黒っぽい上着なので、最初は何が何だかよくわからなかった。男ばかり五百人程。舞台の方を見ている風でもない。

よく見ると、ゆっくり一歩づつ移動している。W状に並んだ行列なのだ。

行列は炊き出しに並ぶ無言の列。

濡れたぐちゃぐちゃの地面に立っている

ぼえ犬は足下から冷えてきて

なんだか悲しくなっちゃった。

すると、ひとりのおじさんがすごい勢いで近づいて来た。

「わし、な。7時50分から歌うからな。聴いてや。40分は歌うで。毎年な、歌ってんねん」

満面の笑み。

そうか。どんな状況でも楽しみを見いだせるのが、生きるものの特徴なんや。ぼえ犬はしつぽを振った。

街頭テレビには、紅白歌合戦が流れていた。立ったままそれを見ている男の人たちの足下をすり抜け、炊き出しの方へ向かってみた。



薪がパチパチとはぜる。真っ赤な炎の上には大きな釜が4つ、白い湯気をたてている。

仮設の小屋のカウンターから、一杯のお椀がひとりづつに手渡されていく。白いプラスチックのお椀を両手で包む人たちが。散乱したゴミや生活道具、廃材。犬がうろろ歩きまわる。

小便臭い場所もある。

■釜ヶ崎というのは地名ではない

西成区の中かの特定の地域をさして釜ヶ崎と呼ぶ。

「寄せ場」という日雇いの仕事で斡旋所と、「ドヤ」(安宿のこと、ヤドの符丁)が集中して集まっている地域のことだ。

このまちの形成を調べてみると、内国勸業博覧会開催(1903年)に伴う1910年、20年代の市電敷設工事、貧民窟の清蕩を主とする「其ノ他ノ事情」により作られていったことがわかる。

その後、高度経済成長期に入り、土木仕事をやる日雇い人夫たちがここに集められる。景気の良い時代には日当賃金も高く、仕事も多く、商店街も賑やかだったそうだ。

時代がうつり、不景気になったとき、高齢化した労働者に仕事は減っていき、路上で暮らす人が増えた。今は朝の3時に斡旋所に来ないと仕事にありつけないそうだ。

コールドームに遊びにきてくれたおじさんが、

帰り道に

「フェスティバルゲートは俺らが建てたんやけどな」と呟く。

ホームレスの追い出しは日常茶飯事のフェスティバルゲートである。

おじさんのことばに返事のしようがなかった。

■働く友人たち

年末から、友人がスリランカに飛んで、被災地で支援活動を行なっている。

「生きることも死ぬ事も一緒だ」

簡潔なことばで力強いメールが英語で届く。

ぼえ犬を描いてくれた東京のデザイナーからは「被災地にも行けず、年末年始を返上して被災地支援のサイトを作るためにパソコンに向かっている、結局こうやって仕事をしているときが一番幸せ」

働く人たちのことばが届く。

前の年の大晦日はコールドームの展覧会の準備でばたばたして、今回は西成の越冬をみて、いっしんに働く友人たちの姿をみて、ぼえ犬はいろいろな年の越し方があるのだなあとと思った。



■人生の荷物ふたつ「大阪ジプシー」

鼻水をたらしながら、ぼえ犬は歩く。

帰る家のない人たちの集まる街を。

深夜、バスの来ないバス停で、
傍らにふたつの紙袋を持って
朝を待っている人がいる。



ぼえ犬は自分には帰る家があるけれど、
それは「ある」と信じているからであって、
「ない」と思えば、ないのかもしれないと思う。

帰りたくない、と思うと、
帰るべき家への道筋がとたんに
重く苦しいものになってしまう。

誰かが待つところが家なのだしたら、
誰かがいなくなれば帰る理由がない。
待っている人だつて、いつかは死んでしまうのだ。

帰る家とは硬い思い込みに過ぎず、
わたしたちの帰る家は、
実は失われつつづけているのではないか。

そんな着想から
「大阪ジプシー」という企画を
思いついたのだつた。



鼻水をすすりあげながら、ぼえ犬は歩く。

光る鼻と冬の星は似ているなあ、なんて思いながら。

本当のところ、

いのちの生まれて来たところが帰る家なのではないか。

たったひとつの家は、
誰でも等しく持っているいのちの家。

だから、

一般的なイメージのすりこまれた帰る家がなくとも
何も心配しなくていいのよ。

星が笑う時は、カラカラと音がする。



■犬の仕事

そもそも、ぼえ犬なる名前の犬が生まれたのは
コルムが誕生する3週間ほど前。

「詩」なんてものを幼い頃からやっていて、
事業化を目指すつもりなど毛頭なかった。
詩人である母親から

「詩を仕事にしようなんて思いなや」と言われつつけて
きた。

わたしが30歳になる直前、今から5年ほど遡るとき、
若い詩人から「詩を仕事にしたいんです」と言われた。
一言も返事をかえすことができなかった。

詩人は職業名ではない。

仕事として成立するとは
誰にも想像つかないことだった。

そして2週間後に、彼は自殺をしてしまう。

確かに人生はそう簡単に思う通りには、ならない。

けれど、
生きていくかぎり、

最後の呼吸まで、
その人がその人生を担う。

人生は、よいことも悪いことも、
未知の出会いに溢れていて、
どうするか、どうなるかは、
その人が選択するものだ。



死んでしまった彼へ
言いたいことはいくらでもあった。

けれど、すでに彼はこの世に
いず、そのことは自らに
跳ねかえつてくる。

ことばの本来の働きは、
あきらめそうになる真つ暗な
人生の、光になること。

自分のことばをみつけること、
それは勇気を持つこと。

ことばの働きを伝えることが、
詩人の働きである。

そして、若い詩人への返事として

「詩を仕事にするのは大変やけど、
がんばりいや」

そう言える自分になりたいと、
わたしは強く思ったのだ。

半年がかりで決意が固まり、

詩が仕事になるのか試してみようと、
実験人生を歩き始めた。

もしそれが不可能だったと分
かれば、そのときに辞めればよ
いと考えている。

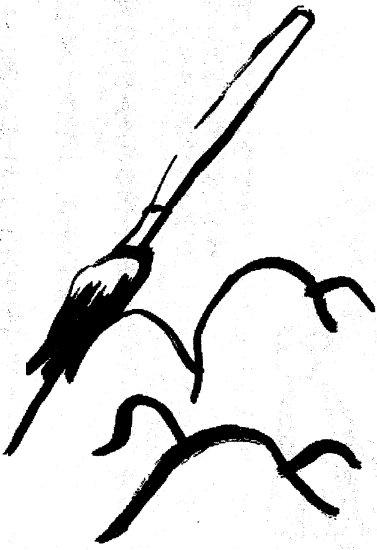
もうダメだと分かるまでは、
怠けず、

一生懸命やること。

フリーライターを辞め、

詩人活動に専念しはじめた後
に、母にこの話をした。

「やるなら、がんばりなさい」と
頷いてくれた。



■場を成立させること「あなたとわたしの間に」

社会というものがよくわからない温室育ちである。

自己と他者。関係性。段取。お金。

考えの違う他者と対話をくりかえし、

困難を乗り越え、場を成立させる、
というのは表現の社会化の
スタートラインだと思っ
ている。

発案者が、場を成立させることは
当たり前とされる。

問題が起これば責任を問われ、
無事であれば無視されるのだ。

「お客様」であれば何でもサービ
スされる消費社会で、
この体験はとて貴重である。

なぜなら、経験は盗まれることは
決してない。

お金では買えない信頼関係や
ネットワーク、

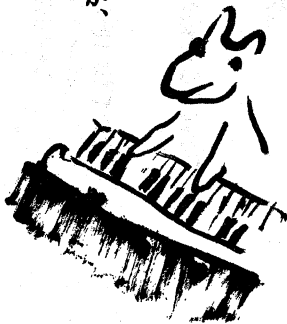
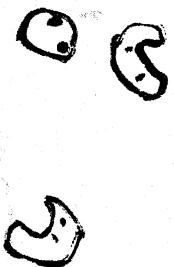
問題を乗り越える技術は、
その人の財産となる。

わたしはこれらの活動を通して、

何が大切で何を信念としていく
のか、を深く考えるようになった。

社会化する、

つまり見えず知らずの他者に向
いて開いていくのに、
ひとりひとりの最小の関係「
あなた」と「わたし」の
関係こそが大切だと考えた。

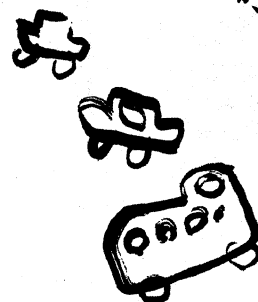


あなたとわたしの間に
「場」が成立するまでの
時間軸と関係の波のような
揺らぎを思う。

見えない川が
わたしたちの間に流れている。

その川をはさんで

こころと耳を澄まし
わたしたちは何を発する
のか、それが課題となる。



■いとへんの街を歩く

ぼえ犬が新世界や西成を歩き
次に散歩に出かけたのは、
織維のまち・船場。

このまちの歴史は豊臣秀吉が
石山本願寺跡に大坂城を築
いた安土桃山時代まで遡る
そうだ。

築城にもなつて堺や京都・
伏見から商業者を強制的に
四方を川に囲まれたこの
地域に移住させ、急速に
城下町の整備をすすめる、
その後、船場周辺はにぎ
やかな政治、経済、流
通の中心地となる。

名前の由来は、かつてその
一帯が

船着き場だったことから
「船場」と

名付けられたという説が
一般的。

軍馬を水浴させたから
「洗場」、
何度も戦いの地になつた
ことから「戦場」
などの説も残っている。

幕末から明治時代初期に
かけては、豪商の倒産、
蔵屋敷の廃止などの影響で
大阪の経済活動が停滞期
に入る。

船場もこのあおりを受け
るが、大阪の市域が拡大
され、再び商工都市として
発展し、

船場は好景気のまま大正
時代を迎える。



第二次世界大戦後の大阪は都市基盤の整備がめまぐるしい勢いで進められる。船場は東西方向に川の流れがあり、御堂筋を中心に南北方向の都市軸を持つ構造へと姿容を遂げた。繊維卸売業者の連なる井池繊維問屋街も活況を呈する。

平成になって、このまちを歩くと大きな紙袋をさげた人たちとすれちがうものの、なんとなく違うんやろうなあ、と思う。

船場の取引は紙袋ではないはずだ。紙袋がコッソコッソ頭に当たるものだから、ぼえ犬はひょいと道を曲がった。

すると、ちいさな公園があり、仲間がいた。「わん」

木の脇にブルーシートの小屋がいくつか。垣根の茂みに入りこんだ猫と喋っているおつちゃんがいる。

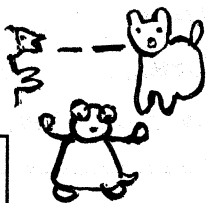
商いのまちだ。かつて、身分としては土農工商の一番最下位に置かれ、商品とお金によって社会と渡りあってきたまち。

いまでは、日常からものが溢れている。安い人件費でつくられた海外の品物がたくさん届き、ものだけではなく、情報も、知識さえも囁みくだかれて、やさしい仕草で届けられる。

誰かを退屈させないようにと、やたら退屈なメディアが幅をきかせている。

管理されたその豊かさのなかで、違和を感じる人もいる。はみだしていくことを凶器のようにふりかざす人もいるし、従順なふりをしながら信念を貫く人もいる。

家を捨て、都市のなかで無言で違和をさらけだしている人たちもいる。



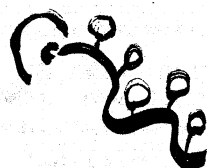
■ぼえ犬は電車に乗ったことがない
乗り物に乗れないぼえ犬は歩く。あまり遠くには行けないので、遠いところについては想像するしかない。

昔の人は言う「想像の旅ほど遠くへ行けることはない」
ぼえ犬は今のところ、歩くことで想像力を養っている。

ぼえ犬は一度、電車に乗った夢を見たことがある。

どうして改札を入れたのかよく分からないが、プラットホームに立っていた。

かすかな振動音が聞こえてきて、だんだんその音が大きくなって電車が滑りこんでくる。



ぼえ犬の前で扉が両側に開き、後ろに並んでいた人に押されるようなかたちで電車に乗ってしまった。

扉が閉まり、ガタンと電車が揺れて「おはよう、ぼえ犬くん」
電車が話しかけてきた。

それから電車は、電車という仕事について話してくれた。たくさん人の働きによって乗客を運ぶ。電車はぼえ犬に耳打ちした。

「乗ってる人のところ、みんなわかるの。」

ぼえ犬は吃驚して、耳がびよんと立ってしまった。

「わかるだけ。」

何もしてあげられないし、何かしてもあかんと思うから。優しく、ね、揺らすだけ」

ぼえ犬からわたしはその話を聞いて「山と穴」という長い詩のような戯曲のようなものを作った。

書き上げてから「聞いてちょうだい」と話しかけると、ぼえ犬は「もう眠いよ」と言って、耳を垂らし、深い眠りのトンネルに入ってしまった。

大阪 ブルーシー

1月29日(土) 19:00 ¥2000+1drink
フラメンコガールズ: 山本むつみ 山口明子 青木眞美子
左山啓子 嶋津未未 西野真由美
フラメンコギタリスト: 伊達ちづ子 詩人: 上田假奈代
会場・予約・お問い合わせ: ココルーム

大阪楽座事業

カレイドスケイプ

あなたとわたしの間に

3月5日(土)6日(日) 19:00 前売¥2500 当日¥2800
上田假奈代(詩人) 野村誠(現代音楽家)
会場: 三木楽器開成館内サロン大阪市中央区北久宝寺町3-3-4 tel.06-6252-1820
予約・お問い合わせ: ココルーム

大阪現代芸術祭プログラム 声は伝えるシリーズ

狂言詩「山と穴」
3月26日(土) 15:00/19:30
前売¥2200 当日¥2700 いずれも+1drink
出演: 茂山あきら、茂山重司、網谷正美、上田假奈代
作: 上田假奈代
演出: 茂山あきら
会場・予約・お問い合わせ: ココルーム
主催: 大阪市、(財)大阪都市協会



開場はすべて30分前

蘭

Web 女流詩人の蘭の会

¥1575(税込み)
発行: 詩学社
装丁: RADIO DAYS
ココルームでも
好評販売中

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/
Web 女流詩人の集い
蘭の会
アンソロジー

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/



4 文とへたな絵: 上田假奈代
レイアウト: 上田假奈代、飯島秀司、阿佐田亘



BOOKS ARCHIVES 20:30 入場無料(要ドリンクチケット)
声が明日のページをめくってゆく / 朗読:上田假奈代, ウォン・ジクスー

上田 1/24(月)第39夜 2/7(月)第41夜 2/21(月)第43夜 3/7(月)第45夜 3/22(火)第47夜
ウォン 1/17(月)第38夜 1/31(木)第40夜 2/14(月)第42夜 2/28(月)第44夜 3/14(月)第46夜

P.P.P.C.B.N ~cocoroom booking night~ 19:00 ¥1,500+1d

- 1/21(金) 人工の夜, guitar noiz orchestra, 森山ふとし+oscilloscottie, milky chu
1/22(土) 拍尾振, ランニングチキン, 山本公成x上田假奈代, ほか出演者募集中
2/4(火) ばきりノす, ほか出演者募集中
2/8(火) 岸昆虫x上田假奈代, ほか出演者募集中(※開始時間未定)
2/22(火) TASKE, ほか出演者募集中(※開始時間未定)
2/25(金) ソープ嬢変死, ほか出演者募集中
3/2(水) STYLE, ほか出演者募集中(※開始時間未定)
3/8(火) 出演者募集中 3/25(金) 出演者募集中

お知らせ 1/22,2/8,2/22,3/2,3/8
P.P.P.P.オープンマイク「実験精神」
持ち時間5分(セッティング2分)
毎回3組募集 もちろんジャンル問わず
お情報! PPPP3回¥3,000発券中!

上田假奈代のほえ茶会 20:00 ¥500+1drinkオーダー

- 1/19(水) vol.24 生きる仕事シリーズ 佐藤晶(職業・雇用開発専門家)
「大阪/マニラのグローカリズム雇用・開発・アート」
2/10(木) vol.25 生きる仕事シリーズ 馬野幹(職業・はみだしっこ詩人)
「ウエノポエトリカンジャムを引き継ぐ」
3/24(木) vol.26 生きる仕事シリーズ 清水啓司(職業・ダンサー)「ダンスと思考 その日常」

文学トコトコ 20:00 1drinkオーダー

- 1/11(火) 若い頃に読んだ筒井康隆〜ころふんしたよな〜/ナビゲーター:晴瓶ウジジ
1/12(水) 司馬遼太郎の幕末がゆく〜刃物な青春〜/語り部:川浪剛
1/14(水) ぼくのおじさんの好きなマンガ/語り部:シャック三原(マンガ家)
1/18(火) 集まれ! オタク会議 〜うなるような淡いネタ〜/世話人:切通くととイジマ
1/26(水) 「向田邦子への詫び状」part1 /語り部:柳澤尚樹 聞き手:川井田祥子(オフィス祥)
2/3(水) 最前線からの報告 - P.P.P.C.B.Nを振り返る - /語り部:坂本ブティング斎
2/17(木) 万博で、オリジナルビデオを上映しよう /語り部:ソラサン
2/23(水) 「モンティパイソン」を語る /語り部:テリー"ギリアム"ジョーンズグループ
3/3(火) 元気が出るテレビで元気が出る日 /ナビゲーター:阿佐田巨
3/15(火) 「百人一首」くだけて物を思ふころかな /語り部:泉谷院とSAP内侍
3/23(水) 押井守の「イノセンス」を語る /語り部:若松氏 聞き手:泉谷修平

cocoroom cafe 企画 20:00 1drinkオーダー

- 1/20(木) 映画ええがなvol.3「邦画ホガホガ」/司会:上田のぞ美(邦画好き)
1/27(木) 「金友トコトコ」業務用自転車改造計画について語るvol.2 /浪速自転車
3/2(火) フォークとおでんと赤提灯 /仕切り人:上田のぞ美
3/9(水) 「金友トコトコ」業務用自転車改造計画について語るvol.3 /浪速自転車
3/29(火) 英語でロック!! /司会:上田のぞ美

Chimes~prick up your ears~ 12:00~22:00 入場無料

- 2/21(月)~3/6(日) 西脇一弘 個展(平面作品)
3/9(水)-3/29(火) 津田修 個展(平面/立体作品)
※出展者募集中.詳しくは wataru@kanayo-net.com(キュレーション担当:阿佐田)まで

coco サウンドストリート 20:00 1drinkオーダー

- 1/13(木) アーティストとしての音楽教育~音楽教育の現場から~ 語り部:斉藤美央
1/25(火) ブライアンウィルソンの「スマイル」を語る会~/にせDJ:ウクレレ前田とイジマ
2/2(水) 井上陽水の船唄 /語り部DJ:近藤和見(劇作家)

Cocoroomでは、寄付をつっています。

運営のための寄付をつっています。ご寄付いただいた方には、お名前を「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクティエイリカツドウホウジンエトコトバココロノヤ

栗原茂明さま、樽家紀治さまよりお心添え頂きました。ありがとうございます。

郵便振替 記号01090-5-48059
cocoroom代表 ウエダカナヨ

キモノの美しい映画シリーズ 星の部 14:00 夕方の部 17:00 前売¥1500 当日¥1800

- 1/16(日) 「祇園小唄絵日傘・第一話 舞の袖」 演奏:haze 対談:富岡邦彦x上田假奈代
2/20(日) 「舞妓さんバリエ行く」 演奏:中林キララ 対談:富岡邦彦x上田假奈代

マエストロあぶらだし 19:30 ¥500+1drinkオーダー

- 2/18(金) vol.1 モーレツ!! モーツァルト 講師:真木喜規(テノール奏者)
3/17(木) vol.2 現代音楽でスマセン! 講師:真木喜規(テノール奏者)

1/29(土) 大阪ジブシー
出演:山本むつみ / 伊達ちづ子 / 上田假奈代 他 ※詳細はP4を参照

2/11(金・祝) 12(土) 鉄腕ポエム vol.6~東京の人気企画鉄腕ポエム大阪初登場~
19:00 ¥2000+1d ※オープンマイク参加者も募集中(制限時間は5分)
11日出演者:近藤洋一 / 桑原海弥 / ハギー・イルファーン / ジュテーム北村 / 橋安純 他
12日出演者:馬野幹 / 西野智昭 / 稀月真皓 / 小笠原淳 / 藤原萌子 / 横山千秋 他
(info)近藤洋一 hitorinisitekurenai@yaho.co.jp

2/16(水) 『即興表現WORKSHOP#10』
18:00open 19:00start ¥1500(+1d)(見学の方も同額)
企画・参加:向井千恵ほか (info)DOM06014@nifty.com

2/19(土) 26(土) Cafe WPAO3 vol.3
-性別役割分業観を思いやりつつ展覧会評を書く-
いずれも18:00 ¥2300(二日セット券 カフェ優待券2枚付き) ¥1500(一日券)
講師:森理恵 ナビゲーター:中西美穂 (info)cafewpao3@hotmail.com

2/27(日)「エルサレムカフェ」-中東のランチとディナー-
時間:昼から夜 入場料金未定 企画・料理人:藤井康虎

3/18(木) 『仏法のお庭 -お彼岸春の巻-』
19:00 ¥500(お茶代) お話:秋田光彦(大蓮寺住職・應典院主幹)

3/26(土)大阪現代芸術プログラム 声は伝えるシリーズ 狂言詩「山と穴」
出演:茂山あきら / 上田假奈代 他 ※詳細は P4を参照

※特記のないものは、開演の30分前に開場。
1dの表記は入場時にドリンクチケット代¥500を申し受けます。

cocoroomから飛び出す事業 問合せはココルーム

上田假奈代の詩の学校

1/12,26 2/9, 23 3/9, 23(すべて19:30~21:30 授業料¥1000/1回)
会場:應典院 大阪市天王寺区下町1-1-27 tel:06-6771-7641 http://www.outerin.com

2/12(土) 大阪ジブシー 路上篇
14:00(ツアーは1時間程度) ¥1500 集合:天王寺公園ゲート前
案内人:小田切聡 / マキ / 上田假奈代

★★大和川レコード作品公演 3DAYS in 東京★★
□書見機初見~大和川レコードと@だち麗三郎が古本屋にて行うlive installation~
1/28(金)20:00 ¥1000 出演:@だち麗三郎 / 大和川レコード / ゲストあり
会場:ブックストア&カフェ/西荻窪ハートランド

□円盤ジャンボリー2 VISUALIVE special
~全アーティストのライブパフォーマンスが全て映像表現という映像ライブ祭り~
1/29(土)19:00 ¥2500(前売) ¥2800(当日)
出演:宇川直宏 / ドラビデオ / 岸野雄一渦巻きオーケストラ / 大和川レコード / 他
会場:Shibuya O-nest info:http://www.enban.org

□高円寺 salon by marblotron企画
1/30(日) 時間料金詳細未定 live:めめ / live installation: 大和川レコード
会場:salon by marblotron (info)salon@marbleweb.net

大阪楽座事業 カレイドスケイプ 「あなたとわたしの間に」
3/5(土)6(日)出演:上田假奈代 / 野村誠 ※詳細はP4を参照

「旧・杉山さんちに踊りに行こう!」プロジェクト
3/19(土)20(日)21(祝)会場:大阪府富田林市重要文化財「旧杉山家」
※19日15:00~16:00に上田假奈代出演 http://www.h3.dion.ne.jp/~aime0901/

編集後記:最近、何故か男性陣が主要なカフェスタッフ。ココルームが
男の料理教室と化する前に、女性スタッフ、急募急募急募!! (わ)



特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋



zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

- ※地下鉄御堂筋線・筋線「動物園前駅」5番出口直結
※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※阪堺電軌鉄道「南麗町駅」下車 徒歩すぐ
※駐車場(有料)

■とってもお得な劇団バック「co屋」

- co屋5日間バック(木金土日) 15万円
co屋4日間バック(木金土日・金土日) 13万円
co屋3日間バック(金土日) 10万円
co屋2日間バック(土日) 8万円

■スタッフ求む!!(びんびん通信)

びんびんスタッフ(ボランティア)から、有償スタッフまで。
現場感あふれるココルームと一緒に活動してみませんか。
10びんびんまで、1PPPP(cocoroom主催イベント、PPPPC.B.Nの
一回フリーパス券)を準備。